

## 日本生体医工学会 平成 19 年度 第 2 回理事会 議事録

日時：平成 19 年 7 月 27 日 15 時 00 分～16 時 50 分

場所：東京大学 学士会館 2 階 6 号室（東京都文京区）

出席者

会長	副会長	理事														監事		支部長						幹事	事務局				
土肥健純	楠岡英雄	佐久間一郎	安藤謙二	石原謙	伊関洋	稲田紘	菊地真	佐藤正明	砂川賢二	千田彰一	田村俊世	千原國宏	辻岡克彦	福井康裕	堀正二	三田村好矩	南谷晴之	山本克之	山口隆美	山越憲一	有澤準二	江刺正喜	岩田彰	梶谷文彦	高田重男	三宅仁	村垣善浩	神保泰彦	村上聡
										委任			委任			×	×	委任	×	×		×	×	×	×	×			

記録：村垣

配布資料

平成 19 年度第 2 回理事会議題

19-2-2 平成 19 年度第 1 回理事会議事録案

19-2-3 平成 19 年度第 2 回理事会入退会審査対象者

19-2-4 - 第 13 回第 1 種 ME 技術実力検定試験結果報告

その他 第 13 回第 1 種 ME 技術実力検定試験合格者（案）

19-2-4 - ME 技術教育委員会（案）

19-2-5 日本生体医工学会平成 19 年度会務分担（案）

19-2-6-14 平成 19 年度各種委員会一覧

19-2-15 推薦用紙

19-2-16 日本生体医工学会専門別研究会協議会議事録

19-2-17 生体医工学誌を年 4 回から 6 回発行にした場合の見積もり

19-2-18 第 46 回日本生体医工学会大会 大会終了報告

19-2-19 第 47 回日本生体医工学会大会 概要

その他 査読者候補者リスト

議事

1. 理事会成立（総務：佐久間）

定款に定める要件を満たしている（15 名出席+3 名委任状/18）ことを確認して成立を宣言した。

2. 前回議事録案（審 総務：佐久間 資料 19-2-2）

原案通り承認した。

3. 入退会状況（審・回覧 会員）

入会：正会員 21 名 準会員 12 名 維持会員 0 社

退会：正会員 33 名 準会員 8 名 維持会員 1 名 名誉会員 0 名 顧問 2 名

会員資格等変更：12 名（準会員 -> 正会員 5 名、 正会員 -> 名誉会員 7 名）

全入退会、資格変更を承認した。

この結果、現況は正会員（国内）2473 名、正会員（海外）42 名、準会員（国内）380 名、準会員（海外）1 名、維持会員 19 社 29 口 顧問 7 名、名誉会員 51 名となった。

4 . ME 技術教育委員会 (報・審 ME 技術教育：稲田 資料 19 - 2 - 4 )

\* 6 月 10 日第 13 回第 1 種 ME 東京、大阪、福岡 午前 ME 基礎 午後機器論 434 人  
受験し平均点が 46.9 点であった。

\* 総合合格者 107 人 24.7% ME 基礎論 合格者 27 人 MR 機器論合格 8 人 が報告され承認された。

\* 委員の変更 原澤栄志氏から山森伸二氏への変更が提案され承認された。

2 - 6 - 14 クリニカルエンジニアリング委員会 看護師を含め安全性の向上のため 3 種等の試験の検討を今後行う。

5 . 総務 (審 会務分担 19 - 2 - 5 )

理事の会務分担案が提案され承認された。

6 . 広報 (報・審 広報：19 - 2 - 6 - 14 )

委員会案が提案され承認された。

7 . 国際 (報・審 国際：19 - 2 - 6 - 14 )

委員会案が提案され承認された。

8 . ME 研究推進 (報・審 : 石原 資料 19 - 2 - 14 )

委員会案が提案され承認された。

10 . 医用研設立 (報・審 : 安藤 資料 19 - 2 - 14 )

医用生体工学研究所設立準備委員会案が提案され承認された。

11 . 教育委員会委員 (報・審 教育：田村 資料 19 - 2 - 14 )

委員会案が提案され承認された。

12 . 選奨委員会 (報・審 選奨：南谷 代 土肥)

各賞の選定委員会委員長案が提案され承認された。

科学新聞賞 現在休止状態とのことで、再開を交渉中である。

13 . 医療技術開発 (報・審 : 菊地 資料 19 - 2 - 6 - 14 )

新規委員を含めて提案され承認された。

14 . 治療機器候補 (報・審 土肥 資料 19 - 2 - 15 CD-ROM)

医療機器の医師主導治験に関する学会推薦のお願い (伊関)

レザフィリンの医師主導治験の治療内容と現在の状況を説明。悪性脳腫瘍を対象として肺がんで承認をうけているレザフィリンを脳腫瘍治療に応用する。

日本医師会治験推進センターへの学会推薦が承認された。

15 . 学術 (報 学術：三田村 資料 19 - 2 - 16 )

専門別研究会協議会での議事が報告された。

専門別研究会からの要望について、以下のように決定した。

- ・年次大会時に開催される場合の大会参加費の負担は原則大会長の判断に任せる。
- ・感謝状を希望する時は研究会長から会長宛に要請状を出して会長名で出す。まず要請状の草案をつくる。

16 . 編集 (報・審 編集：安藤 資料 19 - 2 - 17 )

発行を 6 回にすることが検討され、添付資料の第 2 案で進めていくこととなった。

17 . FMBE 編集委員会 (報・審 : 佐藤 資料 19 - 2 - 6 - 14 )

委員会案が提案され承認された。

18．第46回大会（報：佐藤 資料19-2-18）

参加人数1100名程度 有料949名 非会員が多かった。一般演題427件その他高校生科学コンテストも行った。印刷数1100部 懇親会272名。

第46回大会の最終的な決算が報告された。

19．第47回大会（報：堀 資料19-2-19）

大会予定が報告された。シンポジウムの一部をCOE共催シンポジウムとすることが提案され承認された。ディベート・セッションを新たに企画。査読委員の推薦依頼があった。

20．第48回大会（報：福井）

2009年4月23日（木）、24日（金）、25日（土） 区立タワーホール船堀 と開催予定日時と場所が案内された。

21．その他

各種委員会のアドバイザーの肩書きは顧問に統一し、所属は最新のものすべきとの要望があった。

以上